

金蘭千里

学校案内 2022



改革の種は実をむすび、
カクシンを続ける……

第3章 ● カクシンのある学校 革新

制服——洗練されたデザインです——18

Pick Up! クラブ活動——20

校舎——清潔で快適な学び舎——22

通学——交通アクセス——24

理念——学園の歩みと想い——26

概況——各種データ——27

第4章 ● 人々の声

教員——持田あゆみ／中西広大／土居輝信

吉岡晋作／中尾具代／中川貴文——28

学校生活と受験——34

活躍する卒業生——36

挨拶——生徒と向き合う学校です——38



目次

第1章●カクシンの^核心ある勉強

実績——どこよりも「伸ばす」進学校です——4

受験——多様な志を応援します——6

医学部医学科合格者の声——7

教育——自力で学ぶスタイルを作ります——8

金蘭千里60周年。つづくカクシン——10

第2章●カクシンの^確信ある生活

体験——視野を遠くへ拡げます——14

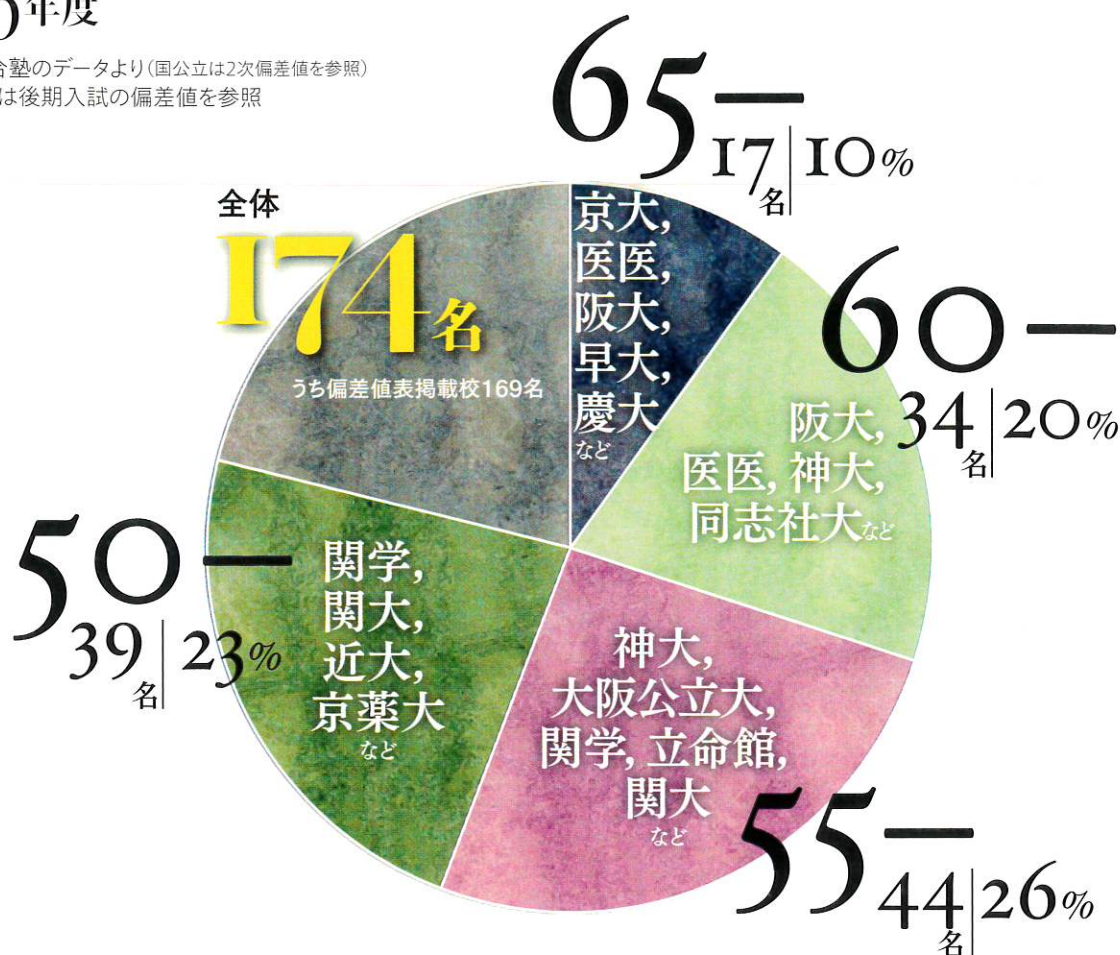
快活——勉強以外にも全力です——16

金蘭千里
学 校 案 内 2 0 2 6

進学実績——偏差値別進学人数

2025年度

※偏差値：河合塾のデータより(国公立は2次偏差値を参照)
※後期合格者は後期入試の偏差値を参照



約3割が最難関大学(偏差値60以上)に進学!
約8割が難関大学(偏差値50以上)に進学!

合格者の声

中1の時、まずは20分テストでいい成績を取ろうと考えました。20分テストでは、授業内容の復習が点数に直結し、前日頑張ればその点数に反映され、友人と切磋琢磨することのできるのも、勉強する習慣がつき成績が伸びていきました。成績が伸び悩むと勉強法を先生に尋ね、20分テストを復習しつつ自力で予習も行って実力を上げることができ、外部模試の成績も上がっていきました。高校の時は、ロイノート(学習支援アプリ)を利用して先生に質問し、助言を得つつ予習復習を徹底することで、塾に行かず現役で合格することができました。

砥綿優成さん(57期生)
大阪大学医学部医学科合格



私は、数学の成績がどうしても上がりませんでした。先生のアドバイスで問題集を何回も繰り返し演習するようになってから改善しました。分からない問題を先生に質問に行くと、分かりやすい解説で根本的な部分から理解することができました。数学を諦めなくて本当に良かったと先生に感謝しています。金蘭千里は完全中高一貫校なので長い目で目標設定できますし、気心知れたメンバーと切磋琢磨できます。特に受験直前の追い込み期は、登校して一緒に勉強していた友達のおかげでモチベーションを維持しつつ頑張れました。

中堀和奏さん(57期生)
神戸大学経営学部合格



第1章 カクシンのある勉強

核心

少人数で高い合格実績 (2025年度卒業生171名)

国公立

71名

京大3, 阪大7, 神大11,
大阪公立10, 兵庫県立5,
奈良女子4, 徳島4,
国公立医・医10など

関関同立
早慶上理

208名

関学44, 関大57, 同志社37,
立命館60, 早稲田4, 慶應2,
東京理科4

医学部
医学科

46名

神大, 大阪公立, 徳島,
鳥取, 奈良医, 旭川医科,
大阪医科薬科, 関西医科,
近大, 兵庫医科, 愛知医科など

実績

「いよいよ」伸ばす「進学校です」

各難関大学への高い合格率

合格者数推移

大学 / 年度	2021	2022	2023	2024	2025
国立					
東京大	3	0	0	0	0
京都大	4	3	2	3	3
大阪大	9	8	17	9	7
神戸大	9	11	6	7	11
公立					
大阪公立大	大阪市立大 大阪府立大 14	8	9	11	10
私立					
関西学院大	58	54	68	51	44
関西大	47	38	44	28	57
同志社大	40	31	52	24	37
立命館大	50	46	80	49	60

「偏差値55未満の中高一貫校の国公立大学
医学部への合格者数比率上位ランキング」で
全国第6位*

*「わが子が伸びる中高一貫校&塾」『週刊ダイヤモンド』(2024年11月30日号)

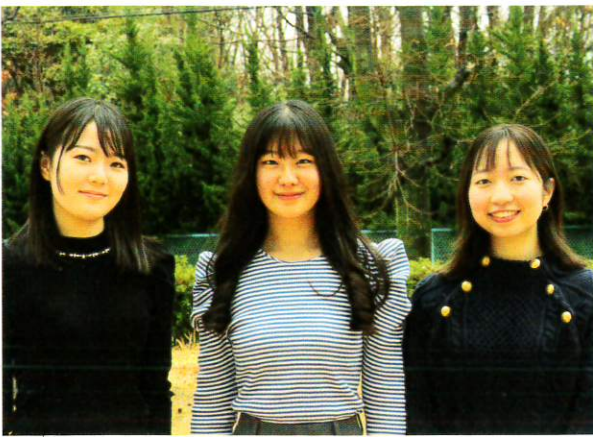
医学部医学科 合格者の声

2025年度医学部医学科
合格者46名

澤田悠愛さん(写真左)

56期生 滋賀医科大学医学部医学科
推薦入試で合格

受 験勉強においては自分がその問題にどれぐらい自信を持って答えられたか、自分はいまどれぐらい理解できているのかを意識するようにしていました。三人とも志望校が同じだったのは偶然でしたが、元から仲が良く、互いを尊重しあう関係を築けていたため、三人で滋賀医科大学に入学できたらいいなと思っていました。そして実際に、三人で互



いの意見を引用することを意識しつつグループディスカッションの練習を行った。受験勉強で不安なことがあれば励ましあったりしていました。

出村そらのさん(写真中)

56期生 滋賀医科大学医学部医学科
前期入試で現役合格

私 自身、コソコソ物事をこなす性格だったこともあり、中学生の頃から毎日の20分テスト勉強に「満点を取れて当たり前だ!」というくらいのマインドで取り組んでいました。日々の内容を確実に消化していくことで、高校三年生になった時、すぐに演習に取り組むことができました。今から思えば中学生からの日々の勉強が大学合格に繋がっていたと感じます。金蘭千里のいちばんの特徴である20分テストの勉強に向き合うことが、大学合格への良い手段であったと感じています。

小宮山由梨さん(写真右)

56期生 滋賀医科大学医学部医学科
推薦入試で現役合格

小 論文講座では10回19題の基礎課題に取り組み、その後過去問の演習を行いました。12年分の豊富な過去問と先生の多くのアドバイスのおかげで、本番では納得のいく小論文を時間内に書き上げることができました。面接に関しては、先輩のアドバイスト、一緒に受験する友達と直前に行った面接練習が、本番のイメージトレーニングになりました。

推薦対策と並行して、共通テスト、二次試験に向けた勉強を行うことは大変でしたが、6年間の20分テストによって作り上げた基礎と、さまざまな人の支えにより、頑張ることができました。

同級生三人で 滋賀医科大学へ進学!

医学部医学科現役合格者の声

畠山結有さん

57期生/高知大学
医学部医学科
総合型入試現役合格



小論文や面接などでよく問われるテーマを個別指導で網羅的に学びました。これにより医学的なことを聞かれても答えられると自信をもって試験を受けられました。また、個別指導の時点で志望理由をまとめていたおかげで、自己推薦書をスラスラ書けました。

西村海翔さん

56期生/徳島大学
医学部医学科
前期入試現役合格



サッカー部に所属し、辛い練習でも自分の成長のためだと思って自分に厳しく取り組んだことで、受験期の勉強も頑張れたのだと思います。20分テストの科目を前日に復習する勉強法を続けていましたが、勉強習慣がついていたためサッカー部引退後も勉強が苦ではありませんでした。小論文・面接は短時間で効果的に指導いただき、おかげで問題なく対応できました。

香取玄機さん

57期生/筑波大学
医学群医学類
前期入試現役合格



情報システムを医療に活用したいと医学部を志しました。課題を調べるうちに医療に対する見識が深まりモチベーションも上がりました。直前には先生が繰り返し練習に付き合ってくれたおかげで、本番での癖の強い質問にも落ち着いて対処できました。

受験

多様な志を応援します

医学部受験対策

いのちを守る「志」を問う

金蘭千里からは、最難関の医学部医学科への進学を毎年たくさん実現しています。学校として、大学入試への対応を手厚くすることは当然のことですが、医療という責任の重い仕事を引き受ける覚悟を問うことも、本校の社会的責務だと考えています。

医系の受験対策——小論文・面接個別指導

医学科の小論文・面接は、動機や覚悟の薄弱な志願者を見極めるために行われています。中等教育としては、小手先の対応テクニックを植え付けるのではなく、大学の要請に応じて、いわば医学科0年生としての心構えが万全かが問われます。本校では、医学科の小論文や面接の指導者を固定し、専門性の高い指導を実現しています。



進路指導

金蘭千里では、学校から教職員に「〇〇大学

〇名合格」といったようなノルマを設定していません。それぞれの生徒が各自の経験や価値観から抱くようになった志を尊重し、そのまま応援できる環境が整っています。見通しが甘い場合にはこれを正す言葉をかけることもあります。そのときに持っている生徒の目標に近づけるための方策とともに考える指導を目指しています。年度によって進路の傾向が変動するのは、生徒自身に志望校を選ばせていればこそその現象と言えます。



順天堂大学と高大連携協定を締結

本校は2024年12月に順天堂大学と高大連携協定を結び、交流・連携を深めることに同意しました。これまでも病理学の先生方をお招きし体験セミナーなどを開催してきた経緯がありますが、今後ますます関係を深め、活動のバリエーションも広がっていきと考えています。

生徒アンケート

学校生活

本校での学校生活は楽しいですか？

楽しい……………	52.2%
どちらかといえば楽しい……………	34.3%
合計……………	86.5%

学習時間

平日・土日平均して、1日どれくらいの時間を学習に使っていますか？

平均時間

2.1時間

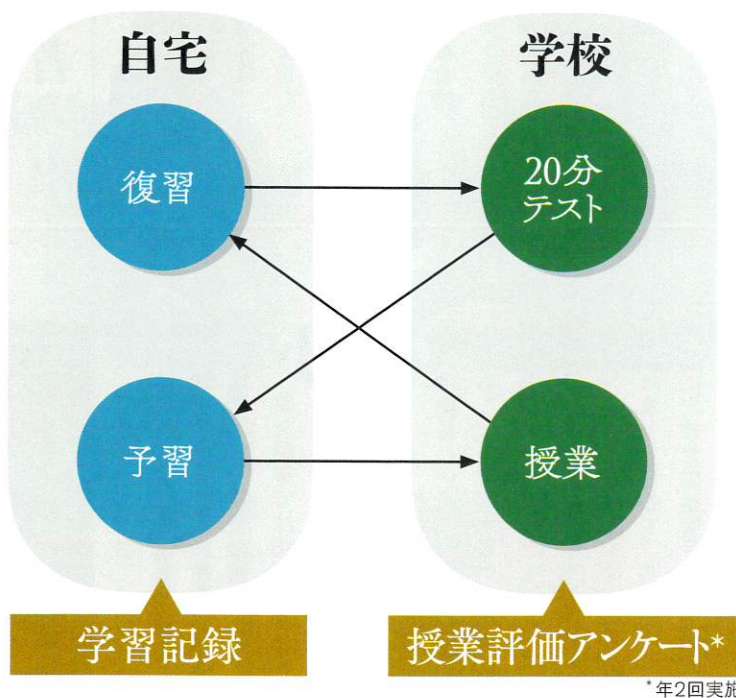
本校では、生徒の実感をつかみ、より良い学校を作るため、年2回(7月・11月)の「授業評価アンケート」と、年1回(10月)の「生活アンケート」を実施しています。

良い友人と助け合いつつ前向きな気持ちで通学している生徒が多数のようです。生活アンケートの一部から「金蘭千里生の感覚」を覗いてみてください。

教育

自力で学ぶスタイルを作ります

金蘭千里の学習パターン



*年2回実施

自立的な学習を根付かせる 金蘭千里生は、6年間かけて学び方を学びつづけます。ものを覚えるのにかかる時間、効率の良い方法、有機的に知識をつなげるのに必要な手間など、それぞれの得意・不得意も踏まえれば、ベストの学習方法は一人ひとり違うはずです。入学当初こそ、学校からひとしきり学習の進め方を指導はしますが、最終的にはそれぞれで良い方法を探していく以外にありません。本校の基幹を成す「20分テスト」の仕組みは、生徒一人ひとりの「学び方」がうまく機能しているか、常に生徒自身に再考を促す役割を果たしています。

学習量については日々学習時間をタブレットで記録して自己管理をし、学習の質について行き詰まれば教員から個別対応を受け、テストの結果を受けとめ改善を続けていきます。

2021年度からは、自宅での自習をバックアップしていくため、希望者対象の「金蘭千里勉強部（オンライン自習システム・個別指導サービス）」を開始しました。詳しくは11ページをご覧ください。

20分テスト概要

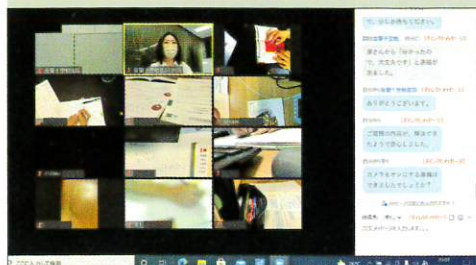
- 毎朝8:35-8:55に実施(1日1科目のみ)
- 5教科10科目、各2週間分の学習範囲の復習テスト
- 中間、期末テストの1/3のスパンで、弱点を早めにフォロー、必要に応じて追試などを実施[予習→授業→20分テスト(復習)→追試など]
- 成績はウェブで1週間ごとに通知

例: 中学1年生の場合

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
ある週	現代文	地理	代数	物理・地学	英(教科書)
次の週	古典	歴史	幾何	生物・化学	英(副教材)

1クラス30人の少人数制 30人規模のクラス運営で、面倒見の良い個性に応じた指導を実現しています。特に中学生の時期には多感な精神面のサポートに、高校生になってからはそれぞれの課題に応じた個別の受験指導に大きく寄与します。

オンライン 自習システム 「金蘭千里勉強部」



オンライン指導の様子

※このサービスはスクール
TOMAS社に委託しています。
※希望者対象です。
別途費用が発生します。

金蘭千里は学習を非常に重視する学校ですが、大量の課題や延々と続く補講で詰め込むスタイルは採っていません。20分テストの結果を見ながら、自分の学習スタイルを構築する後押しをするのが学校の役割であると考えています。

その一方で、自宅で行われる自習の質に直接働きかけることは、これまで学校の立場からは困難でした。

しかしICT機器の環境が整ったことを契機に、本校では2021年度からオンライン自習システム「金蘭千里勉強部」を導入しました。

オンラインで頑張る仲間の姿に触れつつ、分からないところは個別質問対応で即座に解決。自習内容については、本校教員と連携して決めていくことも可能となっています。

●オンライン自習システム利用の流れ



ウインターコース

ウインターコース冬季講習の再編
二学期終業後、四日間のスケジュールで午前中授業を行ってきた本校「ウインターコース」は2024年度より、スキー・スノーボード合宿や英会話の集中講座を含む自発的な活動に取り組める期間に刷新しました。当該期間中は登校自習や自宅学習も選択可能で、年末は各自の希望や問題意識に応じた過ごし方を選択できるようにしています。



金蘭千里

60周年。カクシン

本年度60周年を迎える本校の
“カクシン”は続きます

探究部

有志の探究を後押しする「探究部」
「命令されたことを忠実にこなせるようにすること」から、「自発的に課題を発見し解決できるようにすること」へ学校教育への期待が変化しています。大学生・社会人になるとより強く求められるこうした学びの姿勢をよりしっかりと定着させるため、2025年度より本校は高校1年生・2年生で「探究部」の活動をスタートします。これは有志の生徒と担当の教員でチームを組み、生徒の自発的な関心に応じたテーマを探究し発表するというものです。基礎学力を確実に積み上げている本校生が学んだことを実践的に用いる機会とし、いっそうの成長を期しています。



ICT機器の活用

アダプティブラーニング
基礎事項・既習事項の徹底した反復を目的として、主に中学3年生・高校1年生の英語・数学でICTアプリを用いた「アダプティブ・ラーニング」を導入しました。取り組む生徒一人ひとりの到達度に応じた課題が無理のない量で配信されるため、より個別的なケアが可能となっています。「20分テストで新しい事項の定着を図り、アダプティブ・ラーニングで振り返りの学習を充実させる」というスタイルで、モレ・ヌケのない学習スタイルを確立します。

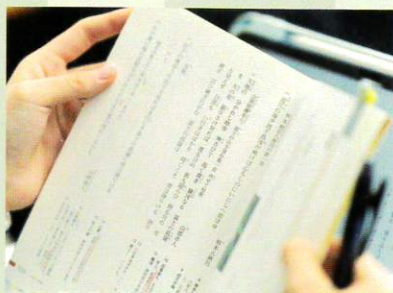
英会話アプリ

本校で主に使用している英会話関係のICTツールはEnglishCentral (EC) や RepeatTalk (RT) です。高校1年生以上で使用するECは、教科書の題材と関連する動画学習を経て、最終的にオンライン英会話によるアウトプット活動を行います。中学2年生以上で使用するRTは、教科書や参考書に出てくる英文を徹底的に音読し、AI英会話での練習を通してその表現を自在に扱えるようにするためのアプリです。自分の音声の文字起こしを確認することで、発音・文法の正確性やイントネーションへの意識も高まります。

金蘭千里 60周年。 つづく カクシン

フィンランド研修

春期フィンランド研修
2027年春期より、新しくフィンランド研修をスタートします(高校生の希望者対象を予定しています)。SDGs先進国であるフィンランドでの様々な取り組みに直接触れつつ、日本では経験することのできない雄大な自然の姿を知る貴重な機会になります。



食堂自販機の充実
生徒会からの提案が契機となり、軽食を提供する自動販売機が食堂に増設されました。現在、飲料の自動販売機のほか、コンビニエンスストアの自販機やアイスクリームの自販機も設置されています。放課後の補食として利用するなど、生徒たちにとってのささやかな楽しみが増えています。

自販機



ジェンダー配慮

ジェンダー多様性への配慮
共学校として諸活動を展開する関係から、本校では「生物学的な性」を基本として対応しつつ、施設・各種活動・制服などさまざまな側面でジェンダー多様性への配慮も進めています。現在は、女子生徒が男子制服一式を、男子生徒が女子制服一式をそれぞれ着用することも認めています。詳しくはQRコードからご覧下さい。





金蘭千里五則

自主性・社会性を育む校則
「金蘭千里五則」

かつて本校は、「軽微な校則違反も即反省文」というたいへん厳しい校風で知られていました。しかしながら自主性の涵養というテーマから考えた場合、明文化された規則をただ守らせるだけという姿勢にとどまっていたと、自ら考える態度はいつまでもつかないことになってしまいました。また50周年改

革以来、さまざまな活動機会を自分たちの手で充実させてゆく生徒たちの姿を見て、本校はもっと生徒を信頼してもよいと自信を深めることとなりました。そこで2024年度より新しい校則「金蘭千里五則」をさだめ、状況に応じてすべきこと・してはならないことを自ら判断できるよう、より生徒自身の判断に期待するルールに改めました。「身だしなみ」「学ぶ環境作り」「他者との協調」といった観点から適切な基準を考えています。「金蘭千里五則」そのものは本校ウェブサイトよりアクセスいただけますので、ご関心のあるかたはご参照ください。



学校生活アドバイザー教諭

多角的な支援体制

本校では各生徒の様々な問題には、伝統的に担任が幅広く対応をしてきました。しかしながら変化の早い世相となったこともあり、悩みや問題の内容によってはより専門的な見地からのアプローチが望ましいと思われる場合も増えてまいりました。「困りごとがあればまずは担任に相談」という基本線は堅持しつつ、各種支援ができる職員（カウンセラー・進路アドバイザー教諭）を設置しています。

2025年度からは「学校生活アドバイザー教諭」を新設し、学校生活の中で生じた悩みや困りごとについて、担任とは違った角度から支援を受けられる体制を新たにとのえました。



芸術文化社会



能楽堂体験

音楽鑑賞

大阪フィルハーモニー交響楽団などのクラシック演奏を、生徒と保護者が一緒に聴く音楽会（ファミリーコンサート）を毎年開催しています。会場は、隣接する千里金蘭大学の音楽専用ホール「佐藤記念講堂」（1400人収容）です。

合唱祭

2月には、中学校でクラス対抗の合唱コンクールを開きます。クラスの団結力が高まり、大いに盛り上がる行事です。

芸術鑑賞

一流の伝統芸能に触れる機会を積極的に設けています。近年は能楽・狂言・落語など「和」にこだわった行事が増えています。

キャリア教育

「キャリア教育」として、各分野で活躍する先輩や外部講師を招いてお話を伺う講演会、多様な職業に触れる校外学習などを実施しています。行動や体験を通じて、「将来したいことは何か？」を見つけるためのさまざまな視点を養える内容となっています。具体的な進路を見定める大切な時期に、「大学の合格」だけに留まらない幅広い将来像を描く一助になります。

国際理解

ネイティブスピーカー
中1から大学入試に至るまで、ネイティブ・スピーカーの教員による英語指導を行います。

講演会

米国総領事館や外務省現役外交官による講演を通じて、世界への視座を養うための国際教育を行います。

演劇ワークショップ

言語だけでなく身体表現を伴ったコミュニケーション能力を育むためのワークショップです。指導経験豊富なプロの劇団員による授業が、中学校の3年間を通じて行われます。



演劇ワークショップ

イベントの例（実施予定も含む）

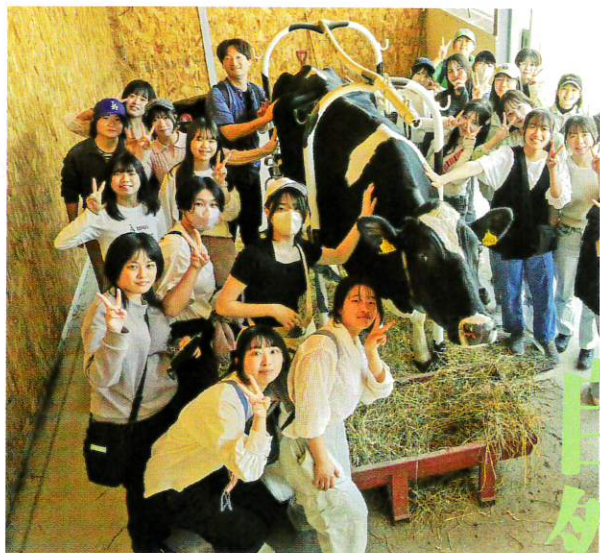
中1	中2	中3	高1	高2
異文化体験	伝統文化体験	企画立案体験	伝統文化体験	社会体験学習
国立民族学博物館	天満天神繁昌亭	クエストカップ	京都で能楽・茶事体験	白浜アドベンチャーワールド
		京都南座	卒業生からのアドバイス	
		歌舞伎鑑賞	卒業生講演	

第2章 カクシンのある生活

確信

体験

視野を遠くへ拡げます



北海道研修

自然

本物に触れる
一回限りの経験でも、強い実感があれば、それは人生を動かすきっかけたり得ます。金蘭千里の行事は、「本物」に触れること、そして実体験を伴うことを重視して計画しています。

野外活動

とりわけ本校が生徒に触れてほしいと考えている「本物」は自然です。思い通りにならない大自然の中に身を置き仲間と協力することで、忍耐・自発性・協調性などの人間性を錬磨します。野外活動のメインは6学年で実施する宿泊行事「キャンプ・自然研修」です。

特に高校2年次で実施する北海道研修は生徒たちにとっても充実感の大きな行事となっています。

自然研修・キャンプ活動の例

高3	高2	高1	中3	中2	中1
兔和野 (兵庫県香美町)	十勝サホロ (北海道新得町)	吉備 (岡山県吉備中央町)	信州 (石川県・富山県・長野県)	今津 (滋賀県高島市)	吹田 (大阪府吹田市)
1泊2日 キャンプ活動(発展)	4泊5日 自然体験・アイヌ文化研修	1泊2日 キャンプ活動(総合)	4泊5日 自然体験 金沢・白馬・上高地	1泊2日 キャンプ活動(標準)	1泊2日 キャンプ活動(基礎)



体 育 祭 ・ 文 化 祭

生徒活動

文化祭・体育祭

文化祭は、クラスやクラブごとに創意工夫を凝らした展示・発表を行います。体育祭は、Asueアリーナ大阪にて、徒競走やリレーなどの競技を楽しみます。文化祭と体育祭では、生徒で組織する全体統括の「総務」や各クラスの「実行委員」が裏方として活躍しています。

2025年度 開催予定日

体育祭.....7月 1日(火)

文化祭.....9月28日(日)



イ ギ リ ス 海 外 研 修

イギリス 海外研修

高校1年生夏期休暇中

に、英国バブリック・スクールの寄宿舎で約2週間の海外研修を希望者に対して実施しています。名門バブリック・スクール「ザ・ナイン」の筆頭格であるイートン校(1440年設立)・ハロウ校(1572年設立)の受け入れがあります。研修では英語学習、スポーツ体験、史跡などの見学、寮生活などの幅広い経験を通して見聞を広めます。こうした名門校で学ぶことは、英国でリーダーとなるための条件とされています。本校の初代校長佐藤一男は、これら英国名門バブリック・スクールの精神に思いをいたし本校を設立しました。2024年の実施でこの英国研修は27回を数え、本校伝統行事の一角となっています。





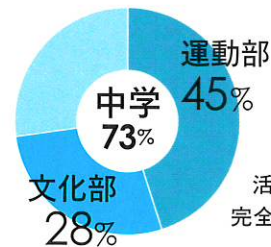
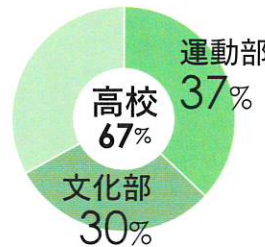
ク ラ ブ 活 動

快活

勉強以外にも全力です



入部率 約7～8割の生徒がクラブ活動を楽しんでいます



クラブ活動概要

活動日：最大週4回
完全下校： 18:00

クラブ 一覧

「勉強も頑張り、クラブも頑張る」。金蘭千里は学業を本分とするため、クラブ活動は週に最大4回で、スポーツ庁及び文化庁のガイドライン内で創立以来活動しています。クラブ活動を全力で楽しむために、時間の有効な活用が重要なテーマになっています。結果、生徒は自主性や協調性が磨かれ、コミュニケーション効率が向上しています。生徒はクラブ活動を通じて社会性を向上させ、多彩な活躍ができる人材へと育ちます。

クラブ活動

拡充されたクラブ活動
かつての金蘭千里はス

文化部

合唱
美術
科学
文芸・新聞
家庭科
百人一首
吹奏楽
演劇
ボランティア
茶道
鉄道研究
PC
書道
写真
囲碁将棋
ESS

運動部

サッカー
バレーボール
硬式テニス
女子ダンス
バスケットボール
剣道
卓球
陸上
バドミントン
ワークアウト



(上から)
男子夏服、
カーディガン、
中学男子合服、
中学女子合服



(左)体操服
(右)体育用ジャージ

“Noblesse Oblige”の理念と
校章をあしらったエンブレム



高校

Highschool



きんらんせんりの「き」を
スピード感と力強さで
表現した体育用ロゴ

※標準的な着あわせを掲載
していますが、男子が女子
制服、女子が男子制服を着
用することもできます。詳
細については学校にお問い
合わせ下さい。※女子はス
ラックスを追加で購入する
ことも可能です。

第3章

カクシンのある学校

革新

中学

Junior Highschool

制服

洗練されたデザインです



(左)通学靴 (中)通学鞆・補助鞆 (右)リュックサック

コート&マフラー
※2024年度からマフラーは
制定品以外も着用可と
なりました。

陸上部

[実績(公式戦入賞)]

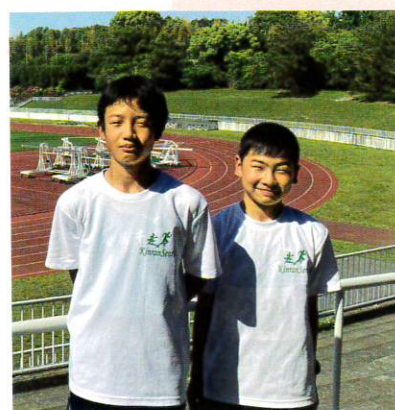
令和6年度 第71回大阪私立高等学校・
第27回私立中学校総合体育大会陸上競技の部
中学女子800m 5位/女子4×100mリレー 5位
女子走幅跳 3位・7位

令和6年度春季吹田市市長杯陸上競技大会

女子対校得点 4位/男子200m 6位/男子400m 4位
男子砲丸投 6位/女子1500m 5位/女子100mH 3位
女子走幅跳 2位・3位/女子砲丸投 4位

令和7年度春季吹田市市長杯陸上競技大会

女子1500m 6位/女子4×100mリレー 4位



「部員プロフィール」Oさん(高3)・キャプテン・専門種目は400m(上左)/Tさん(高3)・副キャプテン・専門種目は800m・1500m(上右)/Eくん(中3)・現在は長距離種目に取り組んでいる「下左」/Tくん(中3)・現在は長距離種目に取り組んでいる「下右」

陸上部では現在、中高合わせて約30名の部員が活動しています。陸上競技は個人種目ですが、ともに切磋琢磨する仲間の存在や、試合で実力を発揮するための周囲のサポートが欠かせないスポーツです。「陸上競技にチームで取り組む」ことで、仲間とともに努力すること、利他的な精神を養うこと、一人では成し得ない成長や喜びを得ることを目標に、それぞれの目標に向けて活動しています。

陸上部の雰囲気

そんな陸上部の雰囲気について、中学3年生のEくんとTくんは、「先輩と後輩のコミュニケーションがさかん」なチームだと感じています。高校3年生のOさんは、「陸上でも勉強でも、なんでも頼れる先輩ができて本当に良かった」とのこと。高校3年生のTさんは、「一人一人が目標に向けてやるべきことを分かっていて、だからこそ他の人のサポー

トもできる、支え合いの関係ができていと思う。先輩後輩という関係を越えて、チームとしてみんなで成長できる集団です」と話します。仲の良い先輩・後輩のチームワークが、部の大きな魅力です。

勉強と部活の両立

金蘭千里と言えば毎日の20分テスト。活動は最大で週4回までとはいえ、部活動との両立は難しそうに見えますが、部員は限られた時間を有効活用しています。

Tくんは「部活に入っていない人と比べると勉強できる時間は短くなるけれど、どうすればより短い時間で効率的に勉強できるかを考えることができた」とのこと。高校3年生のOさんも、「部活がない方が勉強できる時間があるように感じるけど、部活後の短い時間で集中してやる方が効率よく勉強できる。忙しい中で学習習慣がついたのは、部活に入っ

てよかったと思えることの1つ」といいます。2人とも短い時間で工夫して勉強に取り組み、学年でも上位の成績をキープ。「同じように部活をしているみんなが頑張っているの、自分も頑張ろうと思える」と話すのはEくん。グラウンドの外でも仲間の存在が大きな支えになっています。

陸上部に入って

Eくんは「縦のつながりができたり、周りへの気遣いを意識するようになったり、大会などで『やり切った!』と完全燃焼できる機会が得られたりと、部活動に入ってから新しい価値観が取り入れられた」といいます。Tくんは人見知りだった性格が部活動で少し解消されたようで、「同じ年だけでなく他学年の人とのつながりができて、学校での楽しみが増えた」とのこと。2人とも部活動を通してさまざまな刺激を受け、充実した日々を送っています。

ます。Oさんは、「陸上は個人競技だからこそ、自分のことだけでなく周りの仲間が競技に集中できるようにすることも考えるようになった。いろいろなことを考えることが日常生活や勉強にも活かしている」と考えています。Tさんは、「部活に入ってから、自分のことができることが広がった。自分のことだけでなく後輩のことも意識するようになって、自分は成長できたと感じることも多い」といいます。中学生から部活動が続けてきた中で、自分自身の成長を感じ、手応えを得ているのです。

Pick Up! クラブ活動

吹奏楽部

音楽性を大切に活動

2014年の創部時には、部員はほとんど初心者、楽器すら存在しない状態からスタートしましたが、コーチ・トレーナーの先生方の指導の下、努力を重ねてきました。吹奏楽部に限らず、勉強優先の本校では、練習は最大で週4回まで(日曜日祝日は原則練習なし)と、文化庁のガイドライン内での活動ですが、「音楽性の高い演奏を届けたい」という想いで上級生がリーダーとなって、校内や地域での演奏活動に自主的に励んでいます。

夏のコンクール地区代表

最近では外部からも高い評価をいただけるようになってきました。2023年度には全国ポピュラーステージ吹奏楽コンクールで審査員特別賞をいただきました。また、ソロコンテスト関西大会に出場させていただいたり、大阪府アンサンブルコンテストで金賞をいただくなど、外部からの評価は確実に上がっています。2024年には創部以来の念願である、大阪府吹奏楽コンクール北摂大会高校A部門で、金賞+地区代表となり府大会で演奏できました。もちろん私たちは、賞をいただくためだけにクラブ活動をしているわけではありません。一年で一番

大きな本番は、春の定期演奏会であると考えています。定期演奏会では毎回テーマを決め、吹奏楽オリジナル曲や映画の名曲やディズニーの曲など、さまざまなジャンルの曲に取り組んでいます。また、入学式や卒業式、体育祭などの式典音楽も演奏しています。

部員たちの活躍

私たちは、クラブ活動と勉強との両立をはかっています。医学科に進学した卒業生のひとりには「吹奏楽部で楽器や音楽性の向上に努めるうちに、勉強にも通じる『ものごとを上達するコツ』のようなものをつかんだ」と話していました。座学だけでなく、企画立案コンテストである「クエストカップ」全国大会に出場を決める部員もいます。部の運営にも自主的に取り組み、社会に出た時に必要な集団で1つのものを完成させる力や、マルチタスクに耐える柔軟性を身につけていきます。



[実績(2023-2024年度)]

- 大阪府アンサンブルコンテスト高校の部 金賞受賞
- 大阪府吹奏楽コンクール北摂大会高校A部門金賞+地区代表
- 全国ポピュラーステージ吹奏楽コンクール全国大会 審査員特別賞受賞
- ソロコンテスト関西大会に3人出場

知
識
が
る

図書室

約3万点の資料を有する
読書環境に恵まれた
図書室は、この学校の
中心に位置し、
情報収集・発信の
核として機能します。



視聴覚室

約200席を確保する
視聴覚室は、講演会や
映写会・ミニコンサートなど
様々な機会に利用します。



職員室

昇降口前で
青いソファが
出迎える職員室。



交
わ
り
の
場
所

明
る
い
教
室

普通教室

全室南面採光の教室は
ベランダを併設し、光・風
ともに快適な環境です。



質問コーナー

質問コーナーは、
気軽に質問が
でき、教師と生徒が
ふれあえる
交流の場所です。



校舎

清潔で快適な学び舎



努力と成長の
ための舞台



開かれた
空間

二層吹抜けのゆとりある空間は、上下の視線の交流、会話の交流、他学年との交流、教師と生徒の交流といったコミュニケーションを触発する空間です。

大階段

外からも中からも見える、ガラス張りの大階段。これは、生徒が主役となるための舞台です。そして、このガラスは日々努力し成長する自分を映し出す鏡としても機能します。6年後、すばらしく成長した自分をこのガラスに映し、自分を見つめ、大学・社会へと羽ばたいてほしいと願っています。





交通アクセス

- ①大阪メトロ堺筋線・阪急千里線の場合…北千里駅下車、徒歩約10分
- ②大阪メトロ御堂筋線・北大阪急行・大阪モノレール(千里中央経由)の場合…千里中央駅下車、阪急バス175・176系統「金蘭会学園前」下車すぐ
- ③大阪モノレール(山田経由)の場合…山田駅下車、阪急千里線に乘換え1駅で北千里駅、徒歩約10分
- ④近鉄バス(阪大本部前経由)の場合…JR 茨木・阪急茨木市から近鉄バス「阪大本部前」行き終点下車、徒歩約20分

学校の所在

〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5丁目25番2号





金蘭千里中学校・高等学校鉄道研究部調べ

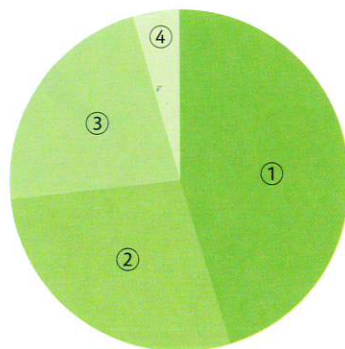
概況

各種データ

通学時間

(2024年度)

① 30 - 60分	46.7%
② 60 - 90分	27.5%
③ 30分未満	22.9%
④ 90分以上	2.9%



住所

(2024年度)

西宮市・尼崎市・宝塚市・川西市・伊丹市・
芦屋市・猪名川町……158名

豊中市・箕面市・池田市・豊能町・能勢町……378名

神戸市……20名

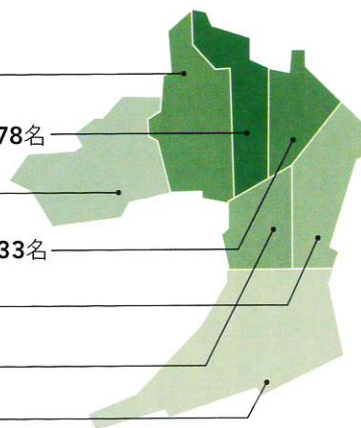
吹田市・茨木市・高槻市・摂津市・島本町……433名

大阪府東部……22名

大阪市……98名

大阪府南部……4名

(京都府・滋賀県……9名, 奈良県……1名)



教育課程

(全日制普通科)

中学校(令和7年度, 週当たり時間数)

	中1	中2	中3
国語	4	5	5
社会	書1 歴2 地2	歴2 地2	公4
数学	7	7	7
理科	5	5	6
保健体育	3	3	3
芸術 音楽	1*	1	1
美術	1*	1	1
英語	6	6	6
技術・家庭	2	2	1
道徳	1	1	1
特別活動	(1)	(1)	(1)
総合学習	2	2	2
計	37	37	37

●英語は、ネイティブスピーカー講師や、オンライン英会話を採用し、4技能を涵養しています。●理科・社会は、高校1年まで幅広い履修を進めます。理科では物理・化学・生物・地学をすべて、社会では、歴史・地理・公共をすべて学習します。●高校2年までに高校の学習範囲を修了し、高校3年では受験に向けた学習を行います。

高等学校(令和7年度, 履修単位数または週当たり時間数)

	標準 単位数	高1	高2		高3	
			文系	理系	文系	理系
現代の国語	2	2				
言語文化	2	3				
論理国語	4					
文学国語	4					
現代文*			3	3	3	3
古典探究	4		4	3	4	3
地理総合	2	2				
歴史総合	2	2				
地理探究	3		△	△		
日本史探究	3		△	△		
世界史探究	3		△	△		
地理演習*					△	△
日本史演習*					△	△
世界史演習*					△	△
公共	2	2				
倫理	2		△2	△2		
政治・経済	2		△2	△2		
倫理演習*					2	△2
政治・経済演習*					2	△2
数学Ⅰ	3	3				
数学A	2	3				
数学Ⅱ	4		3	5	3	
数学B	2		2	3		
数学Ⅲ	3				3	3
数学C	2				3	2
数学演習*						
科学と人間生活	2	3				
物理基礎	2			△		
物理	4					△
化学基礎	2	2	△		4	△
化学	4			4(△)		4(△)
生物基礎	2		1(△)	2	2(△)	2
生物	4					
地学基礎	2				△	
体育	7-8	2	2	2	3	3
保健	2	1	1	1		
音楽Ⅰ	2					
美術Ⅰ	2	△				
書道Ⅰ	2	△				
英語コミュニケーションⅠ	3	3				
英語コミュニケーションⅡ	4		6	4		
英語コミュニケーションⅢ	4				6	5
論理・表現Ⅰ	2	3				
論理・表現Ⅱ	2		3	2		
論理・表現Ⅲ	2				2	2
家庭基礎	2	2				
情報Ⅰ	2		2	2	1	1
総合探究	3-6	2				
ホームルーム活動			月一金SHR, 土HR+課外活動			
計		37	37	37	37	37

△: 1科目選択

*: 一定の時期に
集中講義によって授業を行う

在籍人数

(2024年度)

学年	クラス	男子	女子	計
中1	7	94	123	217
中2	6	83	122	205
中3	7	82	126	208
高1	5	51	111	162
高2	6	57	102	159
高3	6	62	110	172

校名の由来

『金蘭』の名称は易経の

注釈書である

『繫辞伝』の中の

二人心を同じうすれば

その利(と)き(い)と

金を断つ、同心の言(こと)ばは

その臭(かおり)蘭の如し

の文よりとったものです。

これは「志を同じくするものが協力一致すれば何事でも成し遂げることが出来る。また立派な心を持っているもの同士のことばは蘭の花の香のようなかぐわしい雰囲気醸し出すものである。」という意味です。

理念

学園の歩みと想い

私塾

1

師と仰ぐ人のもとで
塾生が、師に
私淑して直接に
師の人格的感化に
浴し、人間として
成長していく。

2 道場

自ら道場入門し、
道場の精神に従い、
その精神になりきることが
できるように、
己を作り替えていく。

建学の精神

自然に
接する

スポーツマンシップ
の涵養

若いうちに何か一つの
スポーツを徹底して行い、
スポーツマンシップを体得する。
男子はサッカー、
女子はバレーボールを
校技と定める。

自主
独立

3

英国のパブリックスクールの精神
生徒が自主独立で個人としての權威を持って
己を磨き、やがて成人したならば、
「多数の人々がそうしているのだから
同じようにしよう」というようなことのない
堅固な個人として行動する。

5

成長期の青少年は、
山野の草木の間に伏して、
草木と息を共にし、陽を仰ぎ星の光を
眺めて生活し、自然の持っている
逞しい生命力を己の中に
吸い込むべきである。

学園の歴史

一九〇五年〔明治38年〕

創立

大阪府立堂島高等女学校（現在の大手前高校）の
同窓会金蘭会が女子教育振興のため
金蘭会高等女学校を創立する。

一九二五年〔大正14年〕

独立

創立20周年を機として金蘭会より独立し、
その後は金蘭会高女の同窓会芳友会員中より
学園の理事が選ばれ経営の主体となる。

一九四八年〔昭和23年〕

改組

学制改革により金蘭会高等女学校を
金蘭会中学校と同高等学校とに改組する。

一九六三年〔昭和38年〕

短大創設

短期大学（家政科）を創設する。

一九六五年〔昭和40年〕

金蘭千里中学校・高等学校創設

千里ニュータウンの北公園内に新たに
金蘭千里中学校・高等学校を創設し、
同時に短期大学を大阪市内より同地に移転。

二〇〇三年〔平成15年〕

大学創設

千里金蘭大学を創設する。

二〇〇五年〔平成17年〕

分離独立・新校舎竣工

金蘭千里学園として金蘭千里中学校・
高等学校が独立し、新校舎が竣工する。

二〇一四年〔平成26年〕

創立50周年改革を開始

二〇一五年〔平成27年〕

創立50周年、新制服に移行開始

二〇二四年〔令和6年〕

創立60周年改革を開始

二〇二五年〔令和7年〕

創立60周年

「興味を持ったことに
夢中になる」素晴らしさを、
生徒達に伝えていけたら。



大 中西広大(地理)

大学院を修了して、金蘭千里の教壇に立つて5年になります。教員になろうと思ったのは大学在学中。一応……と思って取っていた教職課程で模擬授業の授業案を作るうち、自分が興味を持っている地理について教えるということの楽しさに目覚めました。アルバイトをしていた塾で勉強を頑張る生徒達を見て応援したくなった気持ちも手伝って本格的に教員を目指すようになった頃に、恩師とも言える教職の先生に出会いました。高校時代まで「科目」としての社会科は好きではなかったのですが、この先生に出会って社会科を教えることの可能性を学んだと思っています。私は好きなものに対して深く追究するタイプで、音楽やアニメ、映画等、数は少ないものの

一作品にとことん夢中になって掘り下げたくなるんです。大学院で地理を研究していたのも、そういう私の気質に合っていました。「興味を持ったことに夢中になる」素晴らしさを、生徒達に伝えていけたらと思っています。どうしたらもつと生徒が地理に興味を持つのか、いまだ試行錯誤の連続ではありますが、地理の奥深さに魅力を感じてもらえる授業を目指しています。

地理のおもしろさというのは、現象がなぜそうなるのか理屈で説明できることです。たとえば、雨が降る土地だから米が作れて、食べ物があるから人が増えて、人がいるから工業等が発展して……と理屈がつながっているんです。国の名前等の基礎的なところは覚えるしかないのですが、その先にもつと興味深い話があるので、そこにおもしろさを感じてほしいですね。授業で、型破りな質問をしてくる生徒

徒がいますが、そういう時の方が良い質問だったりするものです。教科書からは話があるけれど、その質問に答えていると生徒達がより集中しているのがわかります。実際、受け持ったクラスの話ですが、最初はあまり成績の良いクラスではなかったものの、毎回授業中に積極的に質問してくる生徒が数人いたんです。するとどんどん授業に対して前のめりになっていくのがわかります。私が一方的に話すだけではなく、質問が活発に飛び交い、そのたびに少し深い話をするといった授業スタイル。結果、そのクラスの地理の平均点はいつも良かったので、うれしかったですね。また、ある生徒が質問に来た時に、つい私の興味のままに長々と話しすぎてしまったことがありました。「あ、しゃべりすぎた。この子は質問の答えだけを知りたかったのかも」と思った時、その生徒が「あー、おもしろかった!」って言うてくれたんです。地理のおもしろさが伝わって感激しましたね。

授業には、私が好きで追究してきた「地理」という科目を、生徒達に興味を持たせるものでもあるので、とても醍醐味があります。生徒達が興味を持ってきて、それを深めていくために、私が持っている知識なり力を持つ存分使ってほしいと思っています。

なかにしこうた：図書主任・社会科教員。高校時代に陸上の投擲に打ち込んでいたこともあり、陸上部の顧問「田嶋」さん（田嶋）の大会で、歌詞について「つとつ」の意味を納得するまで味わうという研究家気質。休日は観ることに没頭できる映画館で映画を楽しむことが多く、好きなアニメ映画は「何に感動したのか、その正体を突き詰めたい」と作品を15回鑑賞したことも。先輩教員からは「抜群の安定感」と評されるが、本人はいたって謙虚な姿勢を貫く。

第4章

人々の声

教員

新

しく「表現」の授業を立ち上げるにあたって金蘭千里の教員になりました。

そのような授業は前例がなかったためどのような形にしていくなかで試行錯誤でやってきました。その中で考えた一つが「仕事テスト」。私自身の医療機器メーカーに勤めていた経験を生かして、実際の会社での仕事をテスト形式にしたものです。入社何年目の社員で、どんな仕事を任されていて、マニュアルはどんな感じかなどの設定を与え、それに基づいて「問…請求書を作ってみよう」というような内容です。この「仕事テスト」が新傾向の大学入試対策にびつたり当てはまるものと後になって気がつきました。その他にも実在の企業に提案する新製品の企画をしたり、美術作品を見て感じることを話しあったり、架空の映画のタイトルを考えたり…課題を通してさまざまなことを考え、発表します。いわゆる勉強らしくないグループワークでの授業形式や、自由に考えられる時間が多いためか、生徒は頑張っている組んでいるように思いますね。生徒に投げかけた課題に対して一応私なりに思う模範解答はあるのですが、どのような答えにも、「NO」と言わないように心がけています。「表現」の授業では、たとえプレゼン企画の内容が驚く

持田あゆみ(総合)

もちだあゆみ：国語科教員であり総合を担当。国語教員として私立高校で3年教鞭をとった後、医療機器メーカー勤務を経て現職。趣味は読書、映画、DVD鑑賞の他、ヨリやロードバイクと幅広い。旅行先の沖縄やしまなみ海道を自転車で巡るというアクティブな一面も。安田章大の大ファン。「アイドル好き」と思われることに抵抗がないわけではなく、生徒に対して「好きなものは好きと堂々と言おう」と伝えているため敢えて隠さず公言している。



ようなものでなくとも作品が巧いものでなくとも、与えられた課題のもとで何かしらの答えを導き出すプロセスや一生懸命に考えたことそのものが大切です。もちろん担当者としてヒントを与えたり補助線を引いたり改良点を伝えたりはしますが、「大人の求める模範解答と違う」という理由だけで生徒の答えを否定する意味はないと思っています。

以前企画を考える授業の際に、グループ会議用のメモに猫のイラストを描いている生徒がいました。「それは会議に不要です」とは敢えて言わずそのまま続けさせると、猫についての雑談が始まり、捨て猫の殺処分話題になり：ICTに強い企業への提案として動物と飼い主のマッチングシステムを作ってはどうかという話につながりました。些細なことから企画に発展するということは実際の社会でもあり得ることです。このように、何かをキッカケ

に「気づく」「考える」ことを繰り返し、答えを導き出す経験を重ねていくことで、生徒達の思考を育てていくことができるのではないかと感じています。

金蘭千里の生徒達は素直で真面目な子が多いと思います。それは良いことではあるのですが、知らず知らずのうちに「大人が喜ぶ答え」を考えてしまっていないかという懸念もあります。勉強をすることは大事なことで、有名な大学に進学することも選択肢を広げることに役立ちます。けれど「学校」は人生においての通過点でしかありません。そこで得た知識を社会人になった時に上手く武器として使えるように、自分で考える力や文章を読み解く力、コミュニケーション力といった総合的な人間力を養える授業をこれからも目指していきます。

「の学校に赴任してまず感じたのは「勉強一色だな」というイメージでした。強

当時はクラブ活動もなかったですし、毎日テストがある。生徒達は成績こそ良かったものの、ストレスをため込んでいた印象がありますね。校則も厳しくて、飴玉1個なめていただけで反省文を書かせるような感じでした。私もまだ若かったですし真面目だったせいか、ルールにきっちりしたがって生徒を指導していた覚えがあります。そんな金蘭千里も50周年改革を経て、クラブ活動も幅が広がったり、校則もある意味「普通」になってきました。生徒達は、持っているエネルギーは当時と変わらないんだと思いますが、すべてを勉強に注いでいたものが、今は運動や行事等にもついかれている、とは思います。ただ、笑顔が増えましたし、楽しそうで元気になったと思いますね。生徒に対する私自身も、年齢を重ねたことや自分に子どもができたことも影響してか、変わってきました。ルールはルールとして守らなければいけないのですが、些細な事案で目くじらをたてるよりも、本当に人としてやってはいけないこと、社会に出て困るようなこと等に関するルール遵守への意識が強くなりました。学習面においても考え方は変わりましたね。若い頃は教授テクニクが乏しいこともあって、難関大学等の大学入試問題を片っ端から

吉岡晋作 (数学)

ら解き、傾向を頭に入れ、生徒にも難しい問題をおつけて叱咤激励していました。難しい問題でも生徒自身がじっくり考えて、ヒントもなしに答を導き出すことがいと考えていたところがあつたんです。しかし教師としての経験を積むにつれ、基本ができていない生徒には、難しい問題を解かせるよりも、生徒のレベルに合わせた問題に数多く取り組ませて基礎を固めていくことで、自然と難しい問題も解けるようになるのだとわかりました。受験テクニクにおいては、本当にそうなんだと痛感しています。公立校に比べて私立の学校は、こういった勉強のしかたはかなりいいに指導していると思いますね。

印象深いのは、成績が芳しくない生徒ばかりを集めたクラスを作って担任を務めたことです。当時の金蘭千里は成績にも厳しく、成績が振るわないと留年してしまうような状況でした。そんな中で成績下位の生徒を集め、思い切った授業のレベルも下げ、生徒達の気持ちが腐らないような雰囲気を作っていくことで、クラス全体の空気も変わっていくんですね。もちろん大変なこともありましたが、当時の生徒達が「とにかく楽しかった」と言っ

てくれ、全員が留年せずに卒業できたことは、いい思い出です。

金蘭千里が50周年改革で大きく変化を遂げ、私も経験を積む中でさまざまな面で成長してきたと思います。今の生徒達に思うことは「もっと学校を利用してほしい」ということ。本気になれば、難関大学にだって行けるんです。学校はそのための指針を示し、勉強のしかたは提示していますから、うまく利用して、本気を出して自分の夢を叶えてほしいですね。

よしおかしんさく…進路主任、学年主任。自身は公立の中学高校に在籍し、学生時代は野球部のクラブ活動に明け暮れた。2家よりも長い時間いる「学校」という場が楽しくて教師を志した。公立高から大学受験をした経験から、公立に比べて私立校の受験に対する取り組みが優れていると痛感している。私生活では、おいしい店を調べて食べに行くグルメな趣味を持ち、家では奥様と3人の娘とともにドラマ鑑賞を楽しんでいる。



今の生徒達に思うことは

「もっと学校を利用してほしい」といって。

しんどい状況にある時、
誰かから声を
かけてもらえると
うれしきつて
あるんです。



金

蘭千里の教員になって19年。その前は公立、私立、女子校、男子校、共学：

様々な学校での経験がありました。様々な悩みを抱えた生徒の多い学校で教鞭をとったこともあるからか、金蘭千里の生徒は勉強もするし志も高く、驚いたのを覚えています。基本的には素直で良い子達なのですが、少ししんどそうに見える子もいました。「しんどそう」というのは、何か元気がなかったり、悩みを抱えているような感じがする子です。元氣そうにカムフラージュするのが上手い子も多いのですが、いろいろな生徒を見てきた経験からか、なんとなくわかる。そういう生徒には声を

土居輝信 (英語)

かけるようにしています。でもベタベタするのでもなく、熱血でもない。三歩引いて見ているような感じでいたいと思っています。しんどい状況にある時、誰かから声をかけてもらえるうれしきつてあるんです。担当するクラスや学年の生徒でなくても、気になったら声がけしています。幸い、顔と名前を覚えるのは得意なので。

生徒に対してこういうスタンスでいるのには、私自身の学生時代の経験からくるものです。中学時代は、今では考えられないような超スパルタ塾に通っていて「教育って何なんだろう？やらされるんじゃないか、自分でやるものだ」と強く思っていました。教師には絶対になりたくないという考えでしたが、高校時代に出会った恩師のおかげで変わっていききました。当時、人間関係で辛くなっていたのですが、その先生は私のしんどさを見抜き、声をかけてくれました。ただ私の話を聞くだけ。何も意見せず、じつと聞いてくれました。「話を聞いてもらうだけで救いになるんだ」と、やっと心

から先生と呼べる人に出会えた感じでした。私が髭を生やしているのも、その恩師の真似。髭があった方が生徒にも覚えてもらいやすいという目印みたいなものでもあります。「またあの髭のオッサンが何か言うてる」くらいでも、生徒が覚えてくれればいいなと思っています。興味、関心は幅広い方だと思っています。それが生徒にとって何かヒントになれば……という気持ちがあります。授業に言えれば「語源」を専門にしていたので、そこはこだわっている点ですね。英単語を覚える時に単語の成り立ちを教えています。語源を理解すると似た単語の区別もでき、覚えやすいんです。知らない単語の意味も推測できる。英検の試験後に「役に立ちました」と言ってもらえることも多々あります。また、趣味の映画や本について生徒に話すこともあります。私が紹介した映画がキツカケでフランス映画に興味を持ち、フランス文学の道に進んだ卒業生もいました。自分が持っている知識や経験が、少しでも生徒が先の道を見つける手助けになったり、一緒に考えたりできれば、と思っています。

どいてるのぶ……英語科主任、学年主任。大学にて海外からの留学生と交流を持つ中で生の英語を身につける。趣味は映画、ジャズ、読書。数多くの名画を鑑賞しつつ、その物語や監督、俳優、音楽についても造詣が深い。独立系映画館の支配人と懇意にして、休みの日に余裕があれば映画館のスクリーンで鑑賞したいという映画好き。神戸では誰もが名を知るジャズ喫茶の常連でもあり、ジャズにも精通している。

金

蘭千里在学中、高1時の進路希望調査で「教師になりたい」と書きました。ただ、当時から「教師になりたい」というより、「ここ（金蘭千里）に戻ってきたい」という気持ちが大きく、その思いは就職活動時まで持ち続けていました。そして大学院卒業後、金蘭千里に教師として戻ってきました。

私の在学時は今より勉強一色な学校だったのですが、学校生活がとにかく楽しかったんです。学校の空気感、環境が大好きでした。いい友達がたくさんいたのもよかったのですが、やはり先生がよかったです。私には担任の先生との忘れられないエピソードがあります。翌日、英語の20分テストがあるのに、私が英語のノートを学校に忘れてしまい困っていたところ、担任の先生がそのことに気づいて電話してくださったんです。たまたま同じ電車の沿

中川貴文 (化学)

線だったこともあり、わざわざ電車を一回降りて、ホームでノートだけを手渡してくださって……。そんなあったかい雰囲気があったからこの学校にはありました。私は分らないところがあると、とにかく先生に質問していました。当時私が質問攻めにした数学の先生は、現在同僚となっており、感慨深いです。

いざ自分が教師になってみて感じたのは、「教えることの難しさ」です。100%伝えたいつもりでも半分伝わっていただけない方が多くあります。なので、教え方については日々工夫しています。

私の専門である化学は実学なので、実際の

ものを触ったり、実験をしたり、五感を働かせて感じる部分に面白味があります。ですが、もちろん、大学受験のためには座学も必要です。入職当時は座学に重きを置きがちでしたが、退職された先輩先生から様々な実験を教わり、「なるべく実験」というその先生の授業スタイルを受け継いでおり、生徒も楽しそうにしてくれています。

座学の授業にはオリジナルプリントを用いています。3年間持ち上がりの今3周目ですが、1周目より2周目、3周目と改訂を重ねています。

「先生のおかげで化学が好きになった」という声を聞いたり、化学系の進路を選択する生徒がいたり、化学の教師になった卒業生がいたり。そういう時はやはり教師としてはうれしいです。

また、化学に限らず、生徒には興味のあること、面白いと思えることを学校生活の中でひとつでも見つけてもらいたいと思っています。私の在学時には金蘭千里には文化祭がなかったのですが、今は生徒達が文化祭に取り組んでいます。クラスで協力してひとつの出し物をやり切った時の一体感や、完成までのプロセ

スでもめたことも含めての達成感などを感じている様子を、私は一歩引いた場所からまぶしく見守っています。生徒には能動的であって欲しいと思うからこそ「見守り」です。

教師として10年目となり、節目を迎えますが、よりよい教え方の追究に終わりはないと実感しています。私の教師人生はまだ続きますが、「唯一無二の教師」でありたいと思っています。金蘭千里の素敵な先生方を参考にしながら、私は自分なりの色も出していきたいと思っています。今の私は生徒にとって「話しやすい先生」だと自覚していますが、「厳しい先生」「規律を重視する」先生、いろんな先生がいる学校の方が、生徒にとってはよい環境で、人生のロールモデルを探す場所にもなりえると思っています。金蘭千里はそんな環境なのじゃないかと思っています。

なかがわつかぐみ：化学担当「金蘭千里42期生(卒業生)」。趣味はゲームとテニス。高校時代は現在のテニス部の前身となるテニス愛好会に所属。テニス部の顧問になったことをきっかけに週1でスクールに通う。科学部の主顧問も務め、学校説明会の体験タイムの企画などを担当している。休み時間は多くの生徒に囲まれ勉強からフリースペースなことまで様々な相談を受ける「駆け込み寺」。何事も計画的に準備する性格で、文化祭の教員ダンス初練習時には「すでに振りが完璧だった」と教員間の語り草に。



よりよい教え方の追究に
終わりはないと実感しています。

全体的に活発な生徒が増えたようで、
少しずつ体育の授業の質も変わって
きています。

強

豪校でバレーボール漬けの日々を送り、卒業後も9人制実業団チームでプレーしていた私にとって、バレーボールが校技である金蘭千里への赴任は、何か縁を感じました。とはいえ、当時の生徒達には「投げる、跳ぶ、走る」といった運動の基本ができていない子もたくさんいて、距離感がつかめないと床で突き指をする等、体力や筋力がある前提でスポーツをやってきた私からすると驚きの連続でした。何気なくやってきた運動というものを改めて見直し、人間の身体がどう動くのか考えると気づくこともたくさんありました。体育

の授業では、運動経験が少ない生徒の特性も見極め、安全面等に配慮して行っています。校技なので、授業でバレーボールを行う比率は高く、中学高校と6年間続けることになりました。最初は何もできなかった子も、6年続けると「こんなに上手くなるんだな」という喜びにつながっているようで、みんな本当に楽しそうにやっていますね。バレーボールはコートにボールを落とすことがないように準備し、他人のカバーに入る等、思いやりが必要なスポー

ツ。バレーボールを通して、そうした人間性も磨いていつて欲しいと思います。近年はクラブ活動が増えたこともあり、全体的に活発な生徒が増えたようで、少しずつではありますが体育の授業の質も変わってきています。

50周年改革前は部活も盛んではなく、顧問になったバレーボール部も万年4部でした。でも、レベルはどうあれ試合をすれば勝ち負けはつくんです。かつてのバレーボール部のキャプテンの話ですが、4部を3部へと昇格させた先輩が引退し、自分達の代で一度、4部に降格という、ものすごく悔しい思いをしたんですが、3年の年始めに「このメンバー全員で3部に戻る！」と強く決意表明。その力強さに心を動かされました。そこから部員全員で猛練習を重ね、3部に返り咲いた時は本当に感動しました。「バレーボールをしたい」「勝ちたい」という気持ちは、強豪

中尾具代 (体育)



校であつても、そうでなくても同じ。限られた練習時間の中でどれだけがんばれるか、どれだけ強い気持ちで臨むか、なんです。金蘭千里の部員には伸びしろしかないと思っています。

負けず嫌いな気持ちは部活以外でもよく見られます。校技のバレーボールでの校内大会では、負けてものすごく泣く生徒も。スポーツでの勝負を経験したことがない子が初めての負けを味わうわけです。こういう「悔しい」という感情も、大きな経験になつてほしいですね。

金蘭千里では体育祭も生徒主体で運営します。教員が下準備はしますが、委員に選ばれた生徒は何度も打ち合わせを重ねながら、どのように運営するか考えたり、全校生徒の前で説明をしたりしてリーダーシップを身につけていきます。最初は「なんで委員になっちゃったんだろう」と思うほど大変みたいですが、

終われば大きな達成感があるようです。

今の生徒達に思うのは「強く、やさしくあつてほしい」ということ。強く自分の意見を言うには自分もしっかりしないといけない。自分自身も強くなければいけません。また強く主張するばかりでは相手との溝ができてしまうから、そこには思いやりを持ってほしいですね。勉強やスポーツだけでなく、学校のさまざまな経験を通して、そんな精神的な成長をしてくれることを願っています。

なかおともよ：体育科教員、生徒指導主任。バレーボール強豪校から日本体育大学卒業。大学時代は1991年に世界選手権、1992年にアジアジュニア選手権主将、1993年にユニバーシアードに出場。1993年の全日本インカレ優勝、肩を壊すが実業団の9人制バレーボールでも活躍。最近ゴルフを趣味としている。もともと「2日休みがあれば行く」というほどの旅行好き。部活が多忙になりなかなか行くには行けないが、近場でもグルメ旅を楽しんでいる。社交家でもあり、同僚や他校教員の友人とお酒をたしなみながらの情報交換も。

日々すべきことが明確になる 20分テストが魅力で入学。

金蘭千里を受験しようと思ったのは、環境の良さもありましたが、なんといっても20分テストでした。毎日テストがあることで計画的に勉強する習慣が身につくと思ったのです。当時の私はとてまえ勉強していましたが、長期計画を立てるのが苦手でした。20分テストは長期のカリキュラムを踏まえた上で毎日目のタスクを示してくれるので、私には合っていると思いました。また学校説明会での吹奏楽部の演奏を見て感動したことも大きかったです。親も勧めてくれたので、進学を決めました。

中だるみには気づきながら、 部活に全力だった。

中学に入ってしばらくは順調にできていたと思います。でもある時から「あれ?」と思うようになりました。それなりに成績は上位だったのですが、コロナ禍になったこともあって、将来への見通しを失い、目の目標も失い、なんとなく中だるみしていたのかもしれない。もう少し勉強しないと…と思いながら、部活や文化祭等、楽しいと思える活動ばかりにどんどん力を注いでいました。

あとになって気づいた、 素晴らしい勉強環境。

私は高2から塾に行き始めたんですが、今思うと、高1からでも全授業をしっかり聞いて、課題も全力でやっていれば塾に行かなくても済んだんじゃないかと思います。先生方はしっかり勉強できる環境を作って下さっていたのに、まじめに日々すべきことに向き合っていなかったんだな、と反省しています。浪人中、勉強をしていて「これ、20分テストでできなかったやつ!」とあらためて思い返す…といったこともよくありました。

現役時代の詰めの甘さは反省。 でも、後悔はしていない。

生物が好きだったので、理系への進学を決めており、研究職、商品開発などの仕事に漠然とした憧れを持っていました。高2の時には志望校を決め、高3の11月の総合型入試の一次(学力)試験は上手く乗り切れました。話すことが得意だった私は、プレゼンテーション中心の二次試験も大丈夫だろうと思っていたら不合格。面接練習が不十分だったと思います。その後、共通テストでは予想より点数がとれ、「いける」と思ったのですが、個別試験対策を十分に行えず、また不合格。なんとかなると思っていたけど、それぞれの試験に合わせた対策を取ることが大学受験では大切なんです。こういった反省はありますが、もしタイムスリップできるとしても私はもう一度同じような学校生活を歩んだと思います。部活や文化祭など高校時代にしかできない、ものすごくがんばった貴重な経験が残ったのだから、後悔はしていません。浪人時に最終的に学校推薦型入試で合格した時の志望理由書もほぼ現役時のものを使

えましたし、現役時の体験は決して無駄になってはいません。

部活がすべて! そう思えるほど 充実した吹奏楽部。

入学時から入部を決めていた吹奏楽部ではトロンボーンを担当しました。同期で同じ楽器に入った子がいなかったの、先輩と一緒にいることが多く、先輩達にはとてもかわいがってもらい、先輩方といることが多かったからか、部のことも俯瞰的に見ることができたと思います。高1で副部長になったことで、自分の行動に責任を持つ意識が生まれ、高2で部長になりました。部員から相談を受けた時には、自分の意見だけを押し通すのではなく、何が問題かを丁寧に考えるよう心がけていました。同期にも支えてもらいましたね。常に考えていたのは、「大人数の部で活動すること」の意義でした。

集団で何かを作り上げるにあたっては、(外部の方も含め)自分たちを支えて下さる人々との関わり方、挨拶、礼儀…要するに人間力が大切なんだなと思いました。そしてそれは演奏にも現れるものなのだと、活動を通して実感しました。

全員で作り上げた文化祭は 高校時代の最高の思い出に。

高2の文化祭では、クラスでミュージカル「ライオンキング」を演者そして裏方として完成させました。高校最後の文化祭で絶対に劇をやりたいなと。演者や裏方等全員で作る体験をしたかったので。クラスの練習が始まると演者としての演技の練習はもちろん、演出係として、台詞の声はマイクを当ててもらうことにして観客のみなさんに聞こえやすくするという提案もしましたし、衣裳製作にもこだわりました。クラスみんなが協力してくれて無事できあがった感激から本番中に舞台裏で泣いてしまいました。終わってから「劇をやったよかったね」とクラスの子も言ってくれて、劇を提案した私としては本当に良い思い出になりました。

学校の一番のおすすめは 何よりも「人」!

先生との思い出はありすぎるほどです。吹奏楽部の顧問の先生は、部長である私を一人の大人として尊重してくれて、率直に言いたいことを言える環境を作ってくれました。また受験の時は質問対応や個別指導など現役、浪人時代ともに本当にいろんな先生にお世話になりました。金蘭千里は生徒数が多いので、一人ひとり、きめ細かに見ていただいたと感じます。金蘭千里のよいところは、学校の立地、校舎や設備、校内の綺麗さなどたくさんありますが、一番は、「人」だと思います。先生、友達、先輩後輩、みんな優しくて心根が良い人ばかり。この学校に通えたことを、本当に良かったと思っています。



吹奏楽部でトロンボーンを担当、高2の時には部長を務めた。部の問題点や改善点を考えつつ、厳しく明るく部員を盛り立てて、部のレベルを引き上げた。20分テストをベースにコツコツ勉強し、現役・浪人を通して尻上がりに成績を上げ、第一志望の合格を勝ち取った。

学 校 生 活 と 受 験

金蘭千里の学校生活や勉強、受験サポートなど
多様な卒業生からの生の声を紹介します。

大阪大学歯学部
城田優輝さん



高2まではサッカー部の活動や学校行事などに打ち込み学校生活を満喫。高2で本腰を入れた数学の勉強を突破口に、成績を伸ばし、小4から決めていた志望校、大阪大学歯学部へ現役合格。(高校…サッカー部→大学…準硬式野球部)

親の勧めで入学 いろんな面で楽しめた！

金蘭千里は「入学してからの逆転がすごい」と親にすすめられて入学しました。いざ入ってみると、いい友達がたくさんできて、行事もたくさんあって、部活にも入って。シンプルに「楽しいな」と思えることばかりでした。高2の文化祭のお化け屋敷では、企画から製作まで、率先してアイデアを出しました。自然研修のスタンプではクラスのみんなのにせられて樺坂46のセンターに(笑)。高2では先生からの推薦をいただいて卒業式の送辞を務めることができました。

顧問の先生と衝突した部活 先輩の言葉をきっかけに復帰！

中3の時、部活で納得がいかなかったことがあり、顧問の先生と衝突しました。今なら「なぜ、あんなことか」と思うのですが、当時は未熟な子どもで、曲げられない性分というものもありました。でも高1の時、進路講演会で「サッカーは続けることに意味があった。6年間、辛くても最後まで続けたことで見えたものがあり、受験も頑張ることができた」という卒業生の先輩の言葉に感銘を受け、顧問の先生に自分の非礼を謝罪に行き、先生も受け入れてくれて部活に復帰できました。

日々の成長確認に 20分テストを活用

金蘭千里といえば毎日の20分テストですが、2つの意味があると思っています。1つ目はテストに備えて中1か

らコツコツ勉強し、確実に力を付けていくという意味。これは普通の学校で言えば中間・期末の定期テスト的な意味になります。2つ目は自分の実力を試すいわば「毎日模試」として活用するという意味です。僕が勉強に本腰を入れたのは高2からだったので、毎日その時点での実力を測るためにも20分テストを活用していました。普通の学校の定期テストや模試であれば数カ月に1回しか自分の伸びを確認できませんが、20分テストは毎日あるので、苦手分野のあぶり出しや日々の実力伸張の確認に大いに役立ちました。

小4で決めた 志望校に合格！

大阪大学歯学部を志望するようになったのは小4の時でした。小学生の頃、前歯が生えてこないなど歯に重篤な問題を抱えていて、大阪大学歯学部附属病院に通っていましたが、先生がとても優しく、地域の歯科医院ではなかなかできない高度な治療をしていただき、憧れを抱きました。そしてその志望は大学受験に至るまで一度もぶれることがなく、初志貫徹して合格、入学しました。入学後は、重篤患者の治療ができる「歯科医療の最後の砦」になりたいという思いで、日々精進しています。

高2で数学に 目覚める！

勉強を本格的に頑張り始めたのは高2から。きっかけは高1時から担当してくださった厳しくもあたたかな数学の先生との出会いでした。自分で主体的に数学の勉強を始めてみると先生の数学的な力と教え方の素晴らしさに気づき、その先生に認めてもらいたくて、自分にとっての「愛する参考書」を1冊、高3の夏まで何周もやり込み、阪大合格レベルに達しました。数学ができるようになると、物理、化学等の理系科目も自然とできるようになりました。1つ得意教科を作ることで、自信がつけます。今振り返ると、数学と英語は一朝一夕にはできないので、早くからこつこつとしっかり準備するべきだと後輩に伝えたいです。

出会いと 環境に感謝

金蘭千里の先生方はいい意味でクセが強い人ばかり。先生から受ける刺激はとても大きかったと思います。質問に行った際には、必ず「頑張ってるか？ お前なら大丈夫や」など前向きになれる声をかけてくださいました。また、大人になってからもずっと関係が続くであろう親友とも出会うことができました。校舎も綺麗で清掃が行き届いており、自分が頑張ろうと思った際ストレスなく勉強に打ち込み、自分の背中を押してくれる環境だったからこそ、自分は大学入試に合格できたのだと、今改めて母校に感謝しています。

彫

彫刻家として、石を用いた作品を制作しています。特に最近は、3D技術を用いて自然石の形を数理解析し作品化することを追究しています。幼い頃から手を動かしてモノをつくるのが好きでしたし、ひとりで色々発想することも多かったので、それが今の“創造する”ことの原点になっているかと思います。自分の発想を形にしていく・視覚化していく過程に必要な論理的思考力の基礎については、金蘭千里での学習によるものが大きいと思います。

また、母校の東京藝術大学で教育研究助手として働いてもあります。大学の授業・研究事業のサポートをする中で得た知識・スキルを自分の制作活動にも活かしています。加えて、教育者の立場として学生に接する中で得られるものが多分にあり、非常にやりがいのある仕事だと感じています。



47期

彫刻家
秋吉 怜さん

式

典やコンサートの司会、ラジオパーソナリティ、映像・CMのナレーション等、声の仕事をしています。各現場のニーズを理解し最高のパフォーマンスができるよう、事前の準備とコミュニケーションを大切にしています。恥ずかしがり屋でおとなしい子どもだった私は、金蘭千里に通った6年間で大きく変わりました。特に、学内の英語スピーチコンテストに一生懸命取り組んだことで、声でメッセージを伝えること、人前で表現することに喜びを感じ、自分に自信が持てるようになりました。また、毎朝の20分テストやカリキュラムをこなす中で、勉強が苦手な私でも自然と、勉強する習慣が身についたように思います。

局アナ時代は喋る業務だけではなく、記者として行政や警察、司法、街ネタを取材し、原稿の執筆や音声の編集も担当しました。ニュースを分かりやすく伝えるために幅広い知識が求められ、勉強勉強の日々でしたが、金蘭千里で身についた習慣のおかげで乗り越えることができたように思います。

バレーボール部の同期とは卒業後も連絡を取り合っています。仕事や子育てなど、それぞれの活躍を応援し合えるかけがえのない仲間です。



44期

アナウンサー
覚道 沙恵子さん

現

在は(株)クラレにて、スマートフォンなど液晶画面の部材として欠くことのできないフィルムの生産技術開発に携わっています。お客様の要望を聞きながら検討・改善を重ね、世界シェアNo.1の高品質なフィルムの生産に貢献しています。

金蘭千里では、バレーボール部の先生方から、技術のみではなく、相手を思って行動するという気遣いを学びました。また、自分の教科や教材に信念を持った先生方による20分テストに取り組むことで、コツコツと勉強する大切さも学びました。これらは、相手を思いやりながら、答えのない問いに向かって努力し続けなければならない会社生活での私の糧となっています。

休日は、地域のバレーボールチームを複数掛け持ち、フルマラソンにも挑戦するなど、アクティブに過ごしてきましたが、現在は息子との時間を楽しんでいます。「仕事も趣味も全力で」をモットーに、金蘭千里で得たそれぞれの場所で輝く友人たちから刺激をもらいながら、充実した毎日を過ごしています。



43期

株式会社クラレ開発部
石内 由圭里さん

活躍する

金蘭千里の進路指導は、伝統的に生徒の自発的な希望を尊重しています。大学卒業後の進路も実に多岐に亘り、各界で活躍する人物を輩出しています。目標が見つかるタイミングや生きる道を決断するタイミングはそれぞれですが、一人ひとりの生徒の中から生まれる志を応援し続ける母校でありたいと考えています。バラエティ豊かな本校出身者の声をお聞き下さい。

卒業生

27期
WFP 世界食糧計画 職員
松元正寛さん

WFP国連世界食糧計画という世界最大の人道支援機関で働いています。WFPは、持続可能な開発目標(SDGs)の2番目である「飢餓の撲滅」を目指し、123の国と地域で活動しています。

2020年には、ノーベル平和賞を受賞しました。私は、過去12年間、チャド、コンゴ民主共和国、スーダン、ナイジェリアと、アフリカの紛争地を中心に渡り歩いてきました。現在は、南アフリカの国内に位置する小さな国、レソト王国の事務所まで副代表を務めています。

金蘭千里での6年間の経験無くして、今の私は存在しません。同級生と共に経験した阪神・淡路大震災をきっかけに、国連機関で働きたいという夢を抱きました。経験豊かな教師陣による親身な指導、毎日実施される20分テストによる予習復習を重視した教育、チームワークとリーダーシップを培うことのできるサッカーの部活動。その全ての教えが、卒業して約30年たった今でも、WFPでの職務において役に立っています。

その教えを忘れないためにも、日本に帰国の際には、金蘭千里で講演活動をさせていただいています。また、講演を通して、少しでも多くの後輩にWFPの活動を知っていただき、大学受験と将来のキャリア形成の役に立つことができれば光栄に思います。

27期

福岡洋一さん
茨木市市長／弁護士

自らが生まれ育ったまち、大阪府茨木市にて市長の大役を務めています(現在3期目)。民間企業を経て、弁護士でもあります。

市長という仕事は、平日は“市役所の社長”として、週末は“まちの代表”として地域の活動へ赴くので、休みはほぼありません。でもバテません。揺るがないまちづくりへの情熱と、何より金蘭千里の中高のサッカー部で培った体力が40歳を越えた今も支えています。

中高6年間ほぼ毎朝実施された20分テストによって大学合格までたどり着いた経験は、「千里の道も一歩から」何事もコツコツ積み上げればたどり着くという、人生を貫く忍耐と信念に結び付いています。司法試験も自分には簡単ではなかったですが合格できました。

まちは変わらない、しかし変わっていく、変えていく。何にでも賛成と反対がありますが、反対の人たちも背負って進んでいく。それが民主主義です。日々変化する社会情勢や価値観の勉強を怠らず、たくさんの人たちを巻き込みながら「次なる茨木」を創っています。





金

蘭千里は、豊かな人間性と学力を鍛える「道場」としての伝統のもと、教師が生徒一人ひとりと向き合い、細かな指導を行いながら学力向上の実績を伸ばしてきました。

1クラス30人という小規模な編成は、教師と生徒がより深い絆を結ぶことができ、本校で過ごす6年間だけでなく、大学卒業後の将来まで見据えた対応をすることができます。生徒と向き合う「Face to Face」の教育を重視しているため、本校では伝統的に校長自ら授業も受け持ち、生徒のありのままの姿に接しています。毎朝校門の前に立って登校してくる生徒と挨拶を交わし、日々の生徒の様子をくみ取っておられた、辻本前校長にならい、私も引き続き校門前に立ち、生徒に近い存在でありたいと思います。

また本校の教育の要でもある毎朝の「20分テスト」は、こまめに理解度を把握できるだけでなく、毎日勉強する習慣も身につくため、着実に学力を伸ばす原動力になっています。日々のコツコツとした努力が確実に結果を生み出すことは、創立以来50年以上にわたる本校の

大中 章

OHNAKA Akira

学校長

「変わらず守るべきもの」
「時代のニーズに合わせて
変えていくもの」があると感じています。

実績が証明しており、これからも続いていく伝統です。

伝統ある金蘭千里に愛着を感じている卒業生でもある私は、本校の教員としての経験を経て、校長に就任した今「変わらず守るべきもの」と「時代のニーズに合わせて変えていくもの」があると感じています。創立50周年改革として、クラブ活動や学校行事を増やし活発化させたことで、生徒達の活躍の場は

金蘭千里が、仲間とともに
一生ものの「学ぶ力」を
身につける場となるよう、
尽くしてゆきたい……

教頭

毎日足を運んで、学校というリアルな場所に集う意義とは何なのか。その大きな問いに対する本質的な答えが、金蘭千里にはあります。変化の激しい時代にあつて、役立つと持て囃されたものがすぐ忘れ去られるようになっていきます。結果、私たちは新しいことを学び続けるように強く宿命づけられました。その中で金蘭千里が、仲間とともに一生ものの「学ぶ力」を身につける場となるよう、尽くしてゆきたいと考えています。

大いに広がりました。大きな改革でしたので生徒達の学校生活は大きく変わり、満足度も高まったと思います。しかし変えていくものはこれだけにとどまりません。授業のあり方やカリキュラムは時代に合わせてブラッシュアップが求められますし、50周年改革で変化した状況にともなう変更もソフト面・ハード面ともが必要です。また、これからは「コミュニケーション能力」「リーダーシップ」「柔軟性」と

いった「人間力」も求められる時代です。本校ではこの三つの要素を兼ね備えた「切りひらく覇気、引き上げる意気」、さらに「理性と情熱、自信と謙虚さ」を持った人物を育てていくために、私を含む教師陣自らが自身の人間力にさらに磨きをかけ、成長していく必要も感じています。50周年改革で高評価はいただきましたが、現状に甘んじることなく邁進したいと思っています。

その生徒の 「人生の二翼を担う」 という「覚悟」



“Face to Face”の教育

い つも見てくれる教師がいる——「頼っていい相手がいるんだ」という安心感で相手を包み、生徒の「第二のホーム」になりたい。これが当校のありかたです。

私の部屋に話をしに来る生徒がときどきいます。私はきちんと向かい合って、生徒ともしゃべりを始めます。その間、電話が鳴っても、ノックがあつても、私は席を外しません。生徒が自らの意思で、扉を押す——とても勇気のいることです。

当然、私も一生懸命、話に耳を傾けます。その時、私にとって一番大切なのは、目の前の生徒なのです。

教える立場にあるからといって、私が偉いわけではありません。「誠意」と「思いやり」を持って生徒に接し、人との向き合い方を私

挨拶

生徒と向き合う学校です

自身が示すことが大切な教育です。

一人ひとりと顔を合わせ、真つすぐ向き合つて、一生涯の宝となる人間性の成長を目指します。

本校の教師には、「生徒を変える力」があります。

しかし、それには「良くも悪くも」という但し書きがつくことを、私たちは忘れてはなりません。勉強が苦手な生徒に対して、ただ「もつとやれ」と言つてもその克服は難しい、むしろ、生徒を追い込んでしまう危険もあるのです。

私は常々、「やりたいことを仕事にしない」と生徒に言います。そして「やりたいことを仕事にするためには、どうすればいいのか」を一緒に考えます。

その手段のひとつが、勉強であり、身体を鍛えることであり、そして、五感を研ぎ澄ませることなのだというのを、生徒自身に感じてもらいたいと思つています。

私達は一人の生徒が「本当にやりたいこと」へたどり着けるように道筋を示し、全力でサポートしていきます。10年後、20年後、生徒が夢の実りを報告に来てくれることが、教師にとって何よりの喜びです。

辻本 賢

TSUJIMOTO Ken

理事長・学園長



KAWANO Takashi

川野 貴志

易

経に由来する「金蘭」の校名は、仲間との切磋琢磨が成長に欠かせないことを謳っています。

教育の本質は「環境」です。多様な可能性を有する若者たちが、どのような人物に囲まれて生活するか。これは教育の成否をもつとも大きく左右する要素と言えます。とりわけ机を並べて同じ時間を分かち合う仲間の存在は、生徒たちの日々の生活に特に大きく影響するものと言えるでしょう。

20分テストで「勉強するのが当然」という文化が築かれている本校では、一生懸命勉強して冷やかされることはまずありません。ストレートな向上心を素直に讃えあえる環境を仲間同士で作り上げる。この揺るがぬ伝統は、金蘭千里のもつとも誇るべき点の一つです。

「聴いてよく分かる授業」だけならば、インターネット上のコンテンツとして無数に享受することが可能な世界となりました。それでも



金蘭千里

学 校 案 内

2 0 2 6